

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの新たな飛来（技術情報第4号）について（送付）

このことについて、梅雨明け後にもトビイロウンカの新たな飛来が見られたことから、下記のとおり現在までの飛来状況及び防除対策をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

#### 記

トビイロウンカは6月26日以降断続的に誘殺されています。  
8月期の防除に重点を置く主飛来は7月20日頃と思われます。  
現在までのトビイロウンカの飛来量は過去10年で3番目に多かった令和元年と同等です。  
今後の発生は地域やこれまでの防除履歴によって異なるため、ほ場での発生状況に注意し、適期防除に努めてください。

#### 1 飛来状況

- (1) トビイロウンカは、合志市に設置した予察灯で初誘殺が確認された6月26日以降も断続的に飛来している。7月20日には本年度最多数の誘殺が認められた（表1）。
- (2) トビイロウンカの7月5半旬までの予察灯累積誘殺数は92頭で、過去10年で3番目に多かった令和元年（96頭）と同等であった（表2）。

#### 2 防除対策

- (1) トビイロウンカに対しては若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、表3を参考に生育ステージを確認して防除を行う。  
防除は、可能な限り6月25日飛来の第2世代幼虫期と7月20日飛来の第1世代幼虫期が重なる時期に実施する。
- (2) セジロウンカに対しては、飛来がトビイロウンカと同時であると考えられるため、防除の時期はトビイロウンカに合わせる。
- (3) トビイロウンカの飛来量は地域やほ場、増殖量は品種や使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、要防除水準（表4）を超える場合は（1）によらず至急防除を行う。
- (4) 今後の発生状況や防除適期について最新の情報は、病虫害防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）で確認し、適期防除に努める。

熊本県病虫害防除所  
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）  
担当：清永 TEL 096-248-6490

表1 予察灯・ネットトラップにおけるウンカ類の誘殺数

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入した

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ	
	合志市		合志市	
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ
6/26	5	6	-	-
6/27	21	1	1	0
6/28	3	1	-	-
6/29	1	0	0	0
6/30	1	0	0	0
月計	45	8	2	0
7/1	2	0	0	0
7/2	2	0	-	-
7/3	0	0	-	-
7/4	0	0	1	0
7/5	1	0	-	-
7/6	12	0	0	0
7/7	18	2	-	-
7/8	1	3	0	0
7/9	6	1	-	-
7/10	17	1	-	-
7/11	10	0	0	0
7/12	109	2	-	-
7/13	20	0	0	0
7/14	8	0	1	0
7/15	15	0	0	0
7/16	40	0	-	-
7/17	31	0	-	-
7/18	16	0	-	-
7/19	1	0	7	0
7/20	188	73	0	0
7/21	8	1	3	0
7/22	5	1	5	0
7/23	1	0	-	-
7/24	14	0	-	-
7/25	58	0	1	1
7/26				
7/27				
7/28				
7/29				
7/30				
7/31				
月計	583	84	18	1

表2 トビイロウンカの予察灯誘殺数

1. 調査地点:合志市

調査機関:熊本県病害虫防除所(熊本県農業研究センター生産環境研究所)

(予察灯・60W白熱灯)

月	半旬	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平年値 (H24~R3)	R4
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0.7	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5	1	3	0	0	0	1	5	0	0	0	1.0	0
	6	1	9	1	0	1	0	0	1	2	0	1.5	8
7	1	0	0	10	0	0	0	0	27	226	0	26.3	0
	2	1	5	0	0	0	4	0	2	402	2	41.6	7
	3	167	0	14	0	34	7	0	49	119	0	39.0	2
	4	4	2	2	0	4	0	0	12	2	0	2.6	73
	5	0	0	1	1	3	0	0	4	7	0	1.6	2
	6	0	0	0	1	0	0	1	2	17	0	2.1	
8	1	0	38	1	3	0	0	0	6	28	0	7.6	
	2	4	5	0	1	0	1	0	9	80	0	10.0	
	3	11	9	11	0	2	6	0	3	13	8	6.3	
	4	2	7	2	0	1	6	0	1	22	2	4.3	
	5	0	13	1	0	0	0	0	7	20	0	4.1	
	6	23	166	6	0	0	1	0	16	30	0	24.2	
9	1	239	83	81	0	0	1	0	116	1781	1	230.2	
	2	116	276	60	4	13	13	4	370	323	1	118.0	
	3	36	168	52	1	82	26	2	77	611	0	105.5	
	4	0	13	10	0	46	3	7	43	53	0	17.5	
	5	2	72	15	0	12	4	9	66	18	12	21.0	
	6	0	38	4	0	14	13	0	3353	6	2	343.0	
10	1	0	81	4	0	25	32	0	1584	72	0	179.8	
	2	1	692	0	0	15	144	3	371	6	0	123.2	
	3	0	27	0	0	8	162	0	38	28	6	26.9	
	4	45	5	38	0	473	3	0	170	0	0	73.4	
	5	9	32	150	0	43	1	0	90	7	0	33.2	
	6	8	4	40	0	27	2	0	2	1	0	8.4	
合計		670	1748	503	12	803	430	31	6420	3883	34	1453.4	92

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★6月25日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日から推定）

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第2世代 幼虫 (1齢～5齢)	8月9日 ～ 8月19日	8月10日 ～ 8月21日	8月9日 ～ 8月20日	8月13日 ～ 8月25日	8月10日 ～ 8月21日	8月20日 ～ 9月3日	8月11日 ～ 8月22日	8月10日 ～ 8月21日	8月11日 ～ 8月22日	8月12日 ～ 8月23日	8月11日 ～ 8月22日

★7月20日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯最多誘殺日から推定）

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 幼虫 (1齢～5齢)	8月5日 ～ 8月15日	8月6日 ～ 8月17日	8月5日 ～ 8月15日	8月7日 ～ 8月19日	8月6日 ～ 8月17日	8月10日 ～ 8月17日	8月6日 ～ 8月17日	8月6日 ～ 8月17日	8月6日 ～ 8月17日	8月7日 ～ 8月18日	8月6日 ～ 8月17日
	9月2日 ～ 9月14日	9月4日 ～ 9月16日	9月2日 ～ 9月14日	9月8日 ～ 9月22日	9月4日 ～ 9月17日	9月17日 ～ 10月6日	9月4日 ～ 9月17日	9月4日 ～ 9月16日	9月4日 ～ 9月17日	9月6日 ～ 9月19日	9月4日 ～ 9月17日

注1)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により生育ステージを予測した。

本年の平均気温は7月24日までは2022年実測値、7月25日以降は平年の平均気温を使用した。

注2)防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期(1～2齢)を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢～5齢幼虫の期間

表4 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株